

西叶神社

叶神社が正式名称。東浦賀にも叶神社があり、区別のため、西叶神社と呼んでいる。平安時代末期に文覚上人が源氏再興を願って石清水八幡宮を勧請。文治2年(1186)壇の浦の戦いで平家が破れ、源氏の世になると、大きな願いが叶ったことにより「叶明神」の称号が与えられたとある。みごとな彫刻の社殿は、江戸後期に再建。

愛宕山公園

明治24年(1891)に開園した市内最古の公園。「咸臨丸出航の碑」：昭和35年(1960)に日米修好通商条約の締結100年を記念して建立。碑の裏には、艦長・勝海舟をはじめ、福沢諭吉、ジョン万次郎などの乗組員の名が連ねられている。他に中島三郎助の招魂碑、与謝野鉄幹・晶子夫妻の歌碑がある。

陸軍棧橋

蛇島(西浦賀町1丁目)にあるL字型の棧橋。この棧橋は太平洋戦争終了後、南方や中国大陸から引き揚げてきた約56万人の人々が、日本の地に第一歩を印したところ。

為朝神社

その名のとおり源為朝を祀る。寛政12年(1800)浜町の漁民が、海に漂流していた木像を引き上げ、地藏堂に安置し祈願を、それが為朝の像であったという。創建は文政期(1820年代)、航海及び疱瘡除の神様として信仰を集めていた。

灯明堂 (横須賀市指定史跡)

慶安元年(1648)に幕府の命により築造、当初は勘定奉行の所管、1691年(元禄4年)～1872年(明治5年)まで東浦賀の干鰯問屋(ほしかどんや)が管理。1階は番小屋、2階は四方を紙張りの障子に金網を巡らし、中に直径36cm、深さ120cmの銅製の灯明皿に、菜種油を使用、その光は7kmにも届いたといわれている。現在の灯明堂は昭和63年(1988)に高さ1.8m、幅3.6m四方の石垣の上に復元。

燈明堂の地の先には幕末に築かれた千代ヶ崎台場の跡(砲台跡)が残っている。